



# 玉津処理場のしくみ



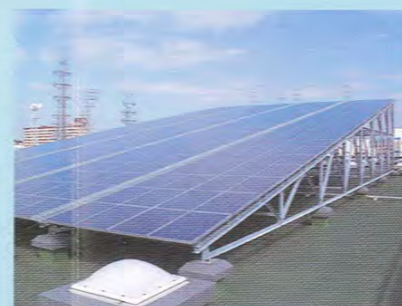
## 中央監視室 Main control room

処理場全体で約700ある機械すべてをコントロールするのが中央監視室です。トラブルの発生に対応するため職員が365日監視しています。



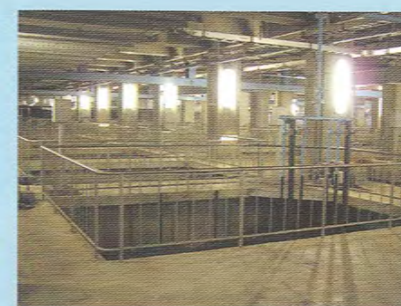
## 自家発電機 Generator

停電時には自動で発電機が起動します。また、降雨時には吉田ポンプ場の雨水ポンプを発電機により運転（ピークカット）します。



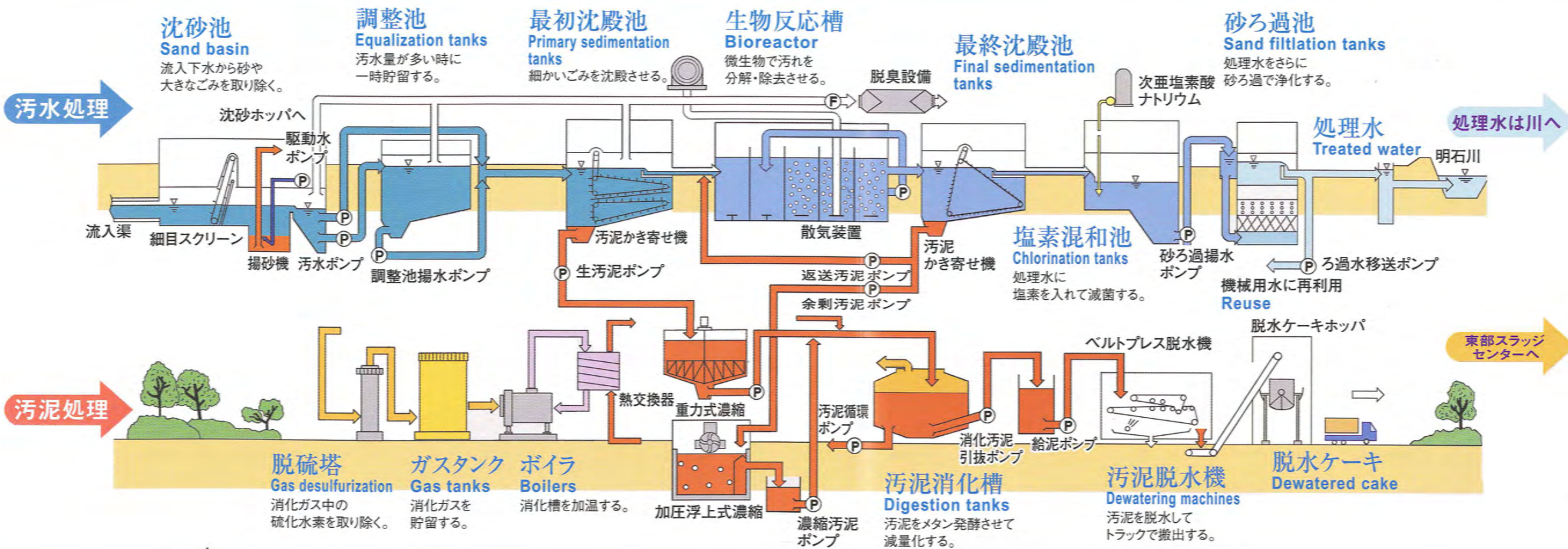
## 太陽光発電 Photovoltaic generation

太陽の光を利用して発電しています。発電した電気は処理場で運転している機械に使用しています。また、日光による建物の加熱を和らげることも目的のひとつです。



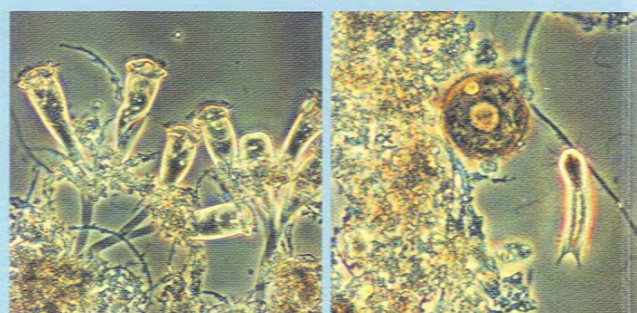
## 最終沈殿池 Final sedimentation tanks

生物反応槽で微生物の働きによって処理した水を、最終沈殿池でゆっくりと流すことによって、汚泥を沈殿させてきれいな水を取り出します。



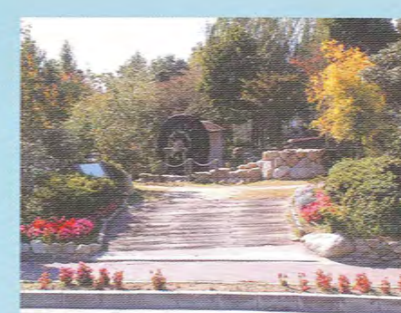
## ベルトプレス脱水機 Belt press filter

汚泥に薬品を添加し、ろ布で挟んで水分を取り除いた固形物（脱水ケーキ）を取り出します。脱水ケーキは東部スラッジセンターへトラックで運搬して焼却します。



## 微生物 Microorganisms

下水の汚れを分解・除去する微生物で、細菌～後生動物まで多くの種類があります。嫌気性や好気性などそれぞれの性質を利用して下水処理をしています。



## 水車とせせらぎの散歩道 Biotope

処理場東側に船上水路清流復活事業の一環として、人と生物の共生空間「ビオトープ」を再現しました。昔なつかしい原風景です。

## 消化タンク・ガスタンク Digestion tanks, Gas tanks

卵型消化タンク(4,000m<sup>3</sup>)はドラフトチューブ式機械攪拌機を設置しており、汚泥をおよそ30日間発酵させて消化ガス(メタン)を発生させます。これにより汚泥の減量化を図ります。消化ガスは消化タンクに加温や管理棟の空調設備の燃料に利用しています。



## 放流口(明石川) Receiving water body

処理水は放流渠を通過して明石川へ自然流下で放流しています。降雨により川の水位が高くなると、放流ポンプで汲み上げて放流します。



## 唐熊公園 Karakuma park

水処理施設の屋上を有効利用して公園を整備しています。地域に開放して、市民の憩いの場になっています。

